

平成26年度修正事業計画書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

基本方針

事業活動としては、研究助成事業等とのバランスを考慮しつつ、当財団が重点課題として位置づけている「科学教育の普及・啓発助成」に注力することで、引き続き理科好きな青少年の育成を行っていく。また、その目的達成のため、特に優れた活動に対してその活動成果を広く他の方々に知らせ、情報を活用して頂くことを目的に、その活動成果を書籍として刊行する書籍刊行費用の助成及び科学教育の普及啓発を目的とした推薦図書の図書セットの助成を新たに追加して実施する。

1. 助成&表彰事業

(1) 第28回研究費の助成事業

- (i) 助成対象：化学の領域における基礎研究または応用研究であって、先駆的独創的にして、わが国の科学技術の振興に貢献することが充分期待され得るもの。
- (ii) 助成金額：1件100万円（設備備品費、消耗品費、国内旅費）までを限度とする。
- (iii) 推薦：候補者は、本財団役員及び評議員、またはこの法人で適当と認めた化学系学会等の推薦による。

(2) 第36回国際交流助成事業

- (i) 助成対象：化学の領域において、次の国際研究交流に貢献することが期待されるもの。
 - ① 海外における国際研究集会への出席、または主催者側から必要と認められ招聘される者。ただし、国公費による出張者を除く。
 - ② 国内で行われる国際研究集会。
 - ③ 国外で行われる国際研究集会。
- (ii) 助成金額：
 - ① の場合：1件30万円（渡航運賃）までを限度とする。
 - ② の場合：1件50万円（会場費、印刷費、国内滞在費）までを限度とする。
 - ③ の場合：1件50万円（滞在費、印刷費、招聘費）までを限度とする。
- (iii) 推薦：「研究費の助成」の場合と同じ。

(3) 第28回研究交流促進助成事業

- (i) 助成対象：産業・経済の発展に貢献することが期待される科学技術に関し、産学官等の研究交流促進が図れるもの。
- (ii) 助成金額：1件100万円（会議開催費、講師招聘費用等）までを限度とする。
- (iii) 募集：原則公募による。

(4) 第9回科学教育の普及・啓発助成事業

- (i) 助成対象：科学技術や理科に興味を持った青少年を育成することを目的として、科学教育の普及・啓発が期待されるもの。

(ii) 助成金額：1件30万円（会議費、印刷費、教材費、備品費、旅費、講師料等）までとする。継続助成は原則3年。

(iii) 募集：原則公募による。

(5) 表彰事業

I. 第25回向井賞の表彰事業

(i) 表彰対象 科学技術の振興に関する特に優れた研究業績。

(ii) 表彰内容 1件：賞状ならびに賞牌、副賞（100万円）。

(iii) 推薦 本財団役員及び評議員、または、この法人で適当と認めたものによる。

II. 第23回向井記念科学講演会の開催

科学技術の振興に貢献することを目的とし、向井賞受賞者の講演を中心に研究助成対象者の成果発表の講演会を開催。

2. その他の事業

(1) 神奈川県青少年科学作文コンクールにおける表彰

(2) MOA 美術館川崎市児童作品展における表彰

(3) 科学教育の普及・啓発助成事業の活動成果を書籍として刊行する書籍刊行費用の助成

(4) 科学教育の普及啓発を目的とした推薦図書の図書セットの助成

3. 事業運営のため、次の各種集会を行う。

(1) 理事会 3回（5月、12月、3月）

(2) 評議員会 3回（6月、12月、3月）

(3) 選考委員会 1回（助成部門、表彰関係）（2月）

(4) 選考部会 随時（助成部門）

(5) 企画・運営会議 随時

(6) 表彰・贈呈式 1回（5月・川崎）

(7) 記念科学講演会 1回（5月・川崎）

以上